

？ ヤングケアラーって？

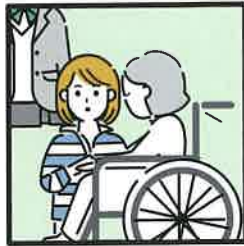
「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。
責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

？ ヤングケアラーは「ふつうのこと」？

家族の手伝い・手助けをするのは「ふつうのこと」と思うかもしれませんが、
でも、学校生活に影響が出たり、こころやからだに不調を感じるほどの重い負担がかかっている場合は、
すこし注意が必要です。



学校の先生・スクールカウンセラー・
スクールソーシャルワーカー・親戚の人・友達など、
信頼できる相手に相談してみましょう。

厚生労働省の特設ホームページでも、様々な相談先を紹介しています。

<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>



家族を支えている
ヤングケアラーは、
カッコいい。

でも、
一人で頑張らないで、
誰かを頼ったっていい。

子どもが子どもで いられる街に。

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されているような
家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。
責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

子どもが子どもでいられる街に



ヤングケアラーについて
詳しくはこちら

<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>





令和4年度 沖縄市児童虐待防止講演会

ヤングケアラーについて考えよう ～こどもと家庭を支えられる地域へ～

日時

令和4年

11月15日

火

〈受付開始：17:30〉

18:00～20:00

会場

沖縄市民小劇場あしびなー

住所：中央2丁目28番1号（BCコザ・3階）

※駐車場は4・5階または中央公共駐車場をご利用ください。

【第1部】講演

（講師：名城 健二 氏／沖縄大学人文学部福祉文化学科教授）

【第2部】当事者による体験報告・パネルディスカッション

（報告：下門 美幸氏 ／沖縄大学2年）

（コーディネーター：名城 健二 氏）

（パネリスト：沖縄市教育委員会指導部指導課、こども相談・健康課）



対象者：沖縄市在住、在勤の方（無料）先着200名 ※手話通訳・要約筆記あり。



申込み方法

裏面の「参加申込書」をご記入の上、FAXまたはメールにてお申込みください。※お電話でお申込みも可能です。

【お申込・お問合せ】

沖縄市要保護児童対策地域協議会（沖縄市役所 こども相談・健康課内）

☎：098-929-3135 FAX：098-934-3830

子ども・子育てを支援し、子ども虐待のない社会をめざして

子ども虐待防止講演会

子どもへの虐待は、子どもの心身に大きな傷を与え、人格形成に重大な影響を及ぼします。子どもの周りにいるおとなが、いち早く子どものSOSに気づき、受け止めて援助できるように、様々な部門の最前線で活躍する専門家の話を聞き、子どもの人権が尊重され、子ども虐待のない社会をめざして、私たちにできることを一緒に考えてみませんか。

10月16日(日) 10時～12時

子どもも自分もラクになる

「どならない練習」

～ちょっとラクな子育てをめざして～



講師 ^{いとう とくま} 伊藤 徳馬 さん

(神奈川県茅ヶ崎市福祉部

福祉政策課 課長補佐)

申込〆切 10月14日(金)



11月3日(木・祝) 10時～12時

親と家族を支える

～「育てにくさ」を感じる

子育てへの支援～



講師 ^{たなか やすお} 田中 康雄 さん

(精神科医、北海道大学名誉教授

こころとからだのクリニック おすびめ院長)

申込〆切 11月1日(火)



11月27日(日) 14時～16時

子ども虐待とDV

～家族に起きていること～



講師 ^{のぶた こ} 信田 さよ子 さん

(原宿カウンセリングセンター顧問

日本公認心理師協会会長)

申込〆切 11月25日(金)



12月18日(日) 14時～16時

子どもたちの性と生

～産婦人科の現場から～



講師 ^{こうの みよこ} 河野 美代子 さん

(産婦人科医、河野産婦人科クリニック理事長

NPO 法人性暴力被害者サポートひろしま理事)

申込〆切 12月16日(金)



申込方法

申込および参加にはインターネット環境が必要です。以下のいずれかの方法でお申込みください。

【メール】 送信先: oki2022kodomo@gmail.com *以下の内容をメールに記載ください。

1.名前 2.希望講演会名 3.電話番号 4.お住まいの市町村 5.職業(所属)

【Google フォーム】ご希望の講演会QRコードよりお申し込みください。

問合せ先: おきなわCAPセンター(平日:9時～17時) 電話:070-6591-7159

主催 沖縄県

共催 おきなわCAPセンター

後援 沖縄県教育委員会 沖縄県社会福祉協議会



メール用

子どもも自分もラクになる 「どならない練習」

練習すれば…少しラクになる。少しマシになる。
むずかしい理論や精神論をすっ飛ばして、体感だけで
子どもへの“うまくいく”対応を習得！

すばらしい子育てよりも、
ちょっとラクな子育てをめざして



勉強やスポーツ、音楽では本番前にいっぱい練習するし、自動車だって免許取得に向けて教習所で練習します。なのに、子育てには練習がなくて、なぜか「親」はいきなりぶっつけ本番の試合になるのです。スポーツや楽器にも練習が必要のように子育てにも練習は必要。具体的な場面での、ありがちな子どもの言動について、どう対応したらよいか練習することで、どなったり、ヒステリックになる場面が減ってきます。練習しておく、いざという時に使えます。最初はうまくいかなくても、練習しておくことで少しはうまくいくようになります。

高度な子育て講演会が高級車だとしたら、今回の講演会はママチャリくらいのイメージで、ママチャリに乗る感覚の気楽さで参加してみてください。

YouTube ライブ配信です。みなさんは画面の向こうで、ゆっくりリラックスしてご参加ください。

【日時】

10月16日(日)10時~12時

【申込方法】 申込〆切 10月14日

申込および参加にはインターネット環境が必要です。
下記のいずれかの方法でお申込みください。

【メール】 oki2022kodomo@gmail.com

1.名前 2.講演会名 3.電話番号
4.お住まいの市町村名 5.職業 をご記入ください。



【Google フォーム】

QRコードよりお申し込みください。→



問合せ先:おきなわCAPセンター(平日:9時~17時)

電話: 070-6591-7159

いとう とくま
講師 伊藤 徳馬 さん

(神奈川県茅ヶ崎市福祉部
福祉政策課 課長補佐)

<略歴>

民間企業を経て、2004年に茅ヶ崎市役所に入庁。2007年から子育て相談・児童虐待担当になり、2010年に子どもへの対応方法を練習する講座を事業化。その頃から「市町村の児童虐待対応と予防、要対協運営、簡易なペアレンティングの講座展開」等の題で講座・研修を実施。現在は福祉の総合相談や計画を担当する部署に所属。著書「子どもも自分もラクになる『どならない練習』」(ディスカヴァー・トゥエンティワン、2020)

